

10/26-27 能登半島支援 報告

2024年10月28日
 大阪よどがわ市民生協
 人事総務部 加藤

1. 日時：2024年10月26日（土）～27日（日）
2. 参加：6名（貫相談役・彦阪執行役員・前田統括・福士副支所長・武藤さん・加藤）
3. 活動場所：26日（土）輪島市町野町金蔵（かなくら）地区
 27日（日）輪島市里町南志見（なじみ）地区
4. 活動行程

1日目：10月26日（土）		
時間	内容	備考
7:20	JR大阪駅中央口集合	
7:40～9:52	大阪駅出発～敦賀乗換～金沢駅着	サンダーバードから敦賀駅で北陸新幹線に8分間で乗換
10:00	金沢駅前のニッポンレンタカーでハイエース（10人乗り）に乗換	
10:45	ヤマト運輸金沢駅西新町営業所でタイ産バナナ2ケースを積み込み	
11:00～11:30	業務スーパー諸江店で買い出し	必要な食材や備品、昼食のおにぎり等を手分けして集め、購入
12:30	NGO結の西岸ベース（七尾市）にて備品を積み込み	※前回の残りの食材が見当たらず
13:00	いろはスーパー（穴水町）で足りない食材を購入	
14:00	金蔵集会所到着、すぐにたこ焼きづくりを開始、48人分（240個）を作る。	14時からの案内となっていたので約10名の方が集会所内で待っている状態だった。 【役割・担当】 彦阪・前田・武藤（焼き器） 福士・加藤（生地下ごしらえ） 貫（バナナ）
16:00～16:30	終了、片付け	
17:00	町野町視察	もとやスーパー付近
18:10	宿泊先（ルートイン輪島）着	
18:30	夕食（芽吹）	
21:00	解散	

2日目：10月27日（日）		
時間	内容	備考
6:00	朝食	朝食後、輪島朝市跡など視察
8:00	ホテルを出発	
9:00	輪島市里町南志見地区の中島商店前に到着	前日にペットボトル約2本分の生地を作り置きしていたので、スタートも早く対応できた。
10：00～12：00	64人分（320個）を作り、振る舞う	
13:00	NGO結のちゃんぷるハウス（町野町）に備品搬入	※ゴミ、段ボール、ガスボンベの空の廃棄を無理にお願いする
13:30	昼食（8番らーめん）	
14:00	金沢駅へ向け出発	途中、志雄PAでトイレ休憩
16:10	レンタカーを返却し、金沢駅構内でおみやげ等を購入	
17:02～19：37	金沢駅発～敦賀～大阪到着	途中、京都で貫相談役・武藤さん下車、新大阪で彦阪執行役員下車
19:37	解散	

5. 感想

- ・ たこ焼きの材料の調達や下ごしらえを全てよどがわメンバーで初めて行いました。今までの災害支援活動では、大阪府連さんやパルコープさんにお膳立てしていただいた状態から、たこ焼きの炊き出しに参加していたので、準備の大変さを学びました。
- ・ 今回、大阪府連中村専務の指示書の下、無事に完遂できたのは、よどがわでの良い経験となりました。
- ・ 1日目の町野町の金蔵集会所では、14時の開始から30人近くの住民が歩いて、または乗り合いで集まっていたと聞き、終始和やかな雰囲気の中、たこ焼きを振る舞うことができました。
- ・ 56世帯約90人の集落だそうです。毎週木曜日に集会所で集まっては、おしゃべりをされているとのことで、たこ焼きを待っている間も皆さんで楽しそうにされていました。
- ・ 今回はNGO結から出張整体マッサージも同時に行っており、順番にマッサージを受けながら、出来上がったたこ焼きと一緒に食べて談笑されている状況は、これまでの炊き出しとは一味違う雰囲気を感じることができ、終盤にはお一人の女性が「たこ焼き、やってみたい」と見よう見まねで、クルクルと上手にたこ焼きを作られていました。
- ・ 2日目の里町の南志見地区では、道路に面した倉庫の軒先でテントを張ってたこ焼き

を行いました。NGO 結からは、前日と同様に出張マッサージもあり、人の支援もあり、こちらも前日の経験で要領を得ていたのも、とても順調にスタートができました。

- ・ 南志見地区は約 100 世帯 200 人の住民の方がおられ、仮設に移られている方とそのままお家に住まわれている方がおられ、その分断してしまってるコミュニティーを、炊き出しに集まって来てもらうことで修復できればと NGO 結代表の前原土武(とむ)さんとの会話に感心しました。
- ・ 町野町の NGO 結のちゃんぷるハウスは一軒家の拠点で、元々住民の方は、地震で被害を受けるも住むことが可能だったので住まわれていたのですが、豪雨災害で 1 階が床上浸水し、住むのを諦めておられたところを結さんが借り受け、拠点として使用しながら、再度、住民の方に住んでもらえるように修復を行っているとのことでした。
- ・ 今回入った輪島市街地や町野町は、地震の爪痕が残る上に豪雨災害によって、道路の陥没や土砂崩れの跡が散見し、とても痛々しい惨状でした。
- ・ 住民の方々が安心して暮らせる状況は、まだまだ時間がかかります。引き続き、大阪府連の下、息の長い支援の継続が必要なので、私自身、また他の職員とともに、支援活動に参加していきたいと思います。

6. 次回以降の引継ぎ、提案

- ・ 事務局人数について、次回 11 月 12 月は組合員と一緒に活動を行います。事務局 2 名と組合員 6 名の計 8 名を想定していましたが、現地入りすぐの買い出しや、活動途中での想定外の対応（材料の買い足し、備品の受け渡し）等、組合員を連れての対応は活動の時間に制限が生じる可能性が大いにあります。そのため、事務局を 2 名増やし、別動隊として、組合員一行に先行し、材料の買い出しや準備、結さんとの調整ができれば、組合員到着後の炊き出しの活動がスムーズに行えると考えます。
- ・ また、炊き出しの活動の事前内容（場所や内容が前日夕方以降に判明）を結さんから予め決めてもらえるように大阪府連を通じて要請してもらいます。

以上